

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：生産振興課

担当名：主穀担当

内線：4145

(単位：千円)

| 番号 | 事業名 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|---|-----------------|-------|---|--------|------|--------------------------|-------------|---------|
| B30 | 水田麦・大豆産地生産性向上事業 | | 一般会計 | 農林水産業費 | 農業費 | 園芸農産振興費 | 米麦産地育成対策費 | |
| 事業期間 | 令和 3年度 | 根拠法令 | 水田麦・大豆産地生産性向上事業実施要綱第2 | | | 宣言項目 | 09 儲かる農業の推進 | SDGsゴール |
| | | | | | 分野施策 | 040937 強みを生かした収益力ある農業の確立 | SDGsターゲット | |
| 1 事業概要 | | | 5 事業説明 | | | | | |
| <p>麦・大豆は、堅調な国産需要がある一方、量・品質・価格の安定供給が実現できず、輸入品が大部分を占めている。</p> <p>また、主食用米需要が減少傾向にある中、米から麦・大豆等への転換を進めることは、麦・大豆の国産シェアの拡大、需要に応じた水田フル活用に向けた課題となっている。</p> <p>このため、産地に対して、団地化の推進や新たな栽培技術の導入等を一体的に支援し、生産体制の強化、収益性・生産性の向上を推進する。</p> <p>(1) 水田麦・大豆産地生産性向上事業 補助金の要望額が見込みを下回ったことによる減額△1,320千円</p> | | | <p>(1)事業内容 水田麦・大豆産地生産性向上事業（7月～3月） 36,983千円 水田における団地化推進、水田における麦・大豆の先進的な営農技術の導入、水田における麦・大豆の生産性向上に向けた機械・施設の導入等を支援する。 団地化推進（定額）、営農技術導入（定額）、機械・施設導入（1/2以内）</p> <p>(2)事業計画 事業実施主体1件 水田における団地化推進(定額) 事業費250千円、補助金額250千円 水田における麦・大豆の先進的な営農技術の導入 事業費15,540千円、補助金額15,540千円 水田における麦・大豆の生産性向上に向けた機械・施設の導入等（1/2以内） 事業費46,627千円、補助金額21,193千円</p> <p>(3)事業効果 団地化推進や営農技術の導入に加え、機械の導入等を支援することにより、産地の生産体制の強化および収益性・生産性の向上が図られることで、麦・大豆の作付面積の拡大および団地化率の向上が図られる。</p> <p>(4)補正予算の概要 機械・施設の導入等に係る補助金の要望額が見込みを下回ったことによる減額（15台21,193千円→14台19,873千円）</p> | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 | | | | | | | | |
| (国10/10、県0、市0)事業者0 | | | | | | | | |
| (国10/10、県0、市0)事業者0 | | | | | | | | |
| (国1/2、県0、市0)事業者1/2 | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 | | | | | | | | |
| なし | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財源内訳 | | | | | 一般財源 | 補正後の予算額 |
| 決定額 | △1,320 | 国庫支出金 | △1,320 | | | | 0 | 35,663 |
| 現計額 | 36,983 | | 36,983 | | | | 0 | |